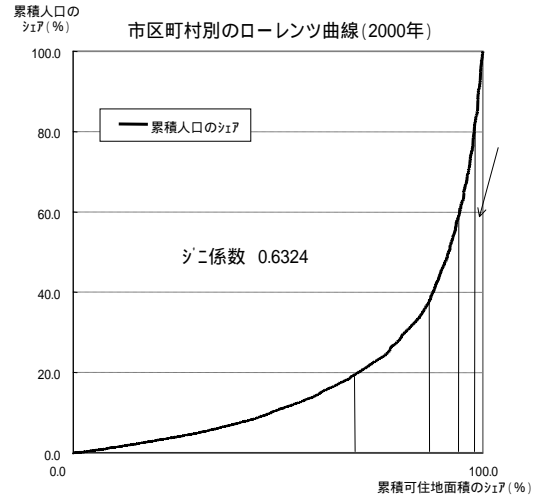
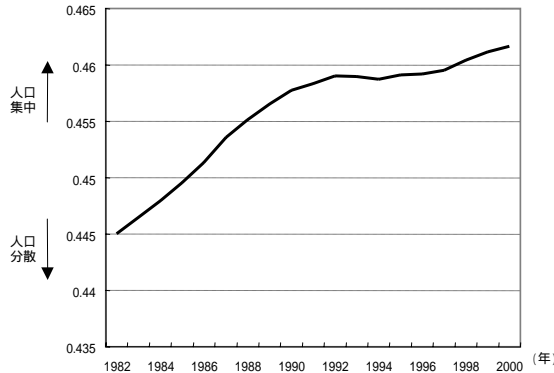


指標：人口分布ジニ係数

全国の人口分布を都道府県を単位とするジニ係数でみると、90年代前半に横ばいとなっているものの総じて集中度が高まる傾向にある。市町村を単位とする人口分布でみると、可住地面積2%のところに入人口の20%が分布しているなど集中度が高い。

都道府県別の人口分布ジニ係数の推移



(出典) 国土交通省国土計画局調査、総務省自治行政局「住民基本台帳人口要覧」をもとに国土交通省国土計画局作成。

- (注) 1. ジニ係数(G)は都道府県別の人口と可住地面積をもとに算出し、次式で求められる。

$$G = 1 - \frac{\sum a_i(p_i + p_{i-1})}{10000}$$

$$a_i: \text{人口密度が最も低い都道府県から}i\text{番目の都道府県の可住地面積の国内可住地面積に占める割合(\%)}$$

$$p_i: \text{人口密度が最も低い都道府県から}i\text{番目の都道府県までの累積人口の割合(\%)}$$
 2. 可住地面積とは、農用地・宅地・道路の合計である。
 3. ジニ係数は、1に近づくほど集中度が高く、0に近づくほど均等化が進んでいることを示す。

| グループ | | | | | |
|---------------------------------|-----|------|------|------|-------|
| 可住地面積のシェア (%) | 67 | 18 | 9 | 4 | 2 |
| 人口のシェア (%) | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |
| グループごとの人口密度(人/km ²) | 316 | 1170 | 2371 | 4979 | 10064 |

(出典) 総務省統計局「国勢調査報告」、「統計でみる市区町村のすがた」、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積」、農林水産省「1990年世界農業センサス」をもとに国土交通省国土計画局作成。

- (注) 1. ジニ係数は、市区町村別の人口と可住地面積をもとに算出した。
 2. 可住地面積は、北方地域及び竹島を除いた総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出した。なお林野面積とは、森林面積と森林以外の草生地面積の合計である。主要湖沼とは、面積1km²以上の湖沼で人造湖以外の湖沼としている。